

# 【商工会】災害対策ウェビナー

被災経験者は語る  
ゲストスピーカー：小川嘉明  
(JBAH会員：Baldwin Risk Partners)



# 被災者自己紹介 (ガルフストリーム3月号)



## 会社紹介

### Baldwin Risk Partners

正団体会員 代表 小川嘉明 さん



#### 1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

Baldwin Risk Partnersは、謂わば、ホールディングス会社で業界における数々の受賞歴がある専門会社から成るテクノロジーを駆使した急成長中の総合保険ブローカー・リスクコンサルティング会社です。Global Japanese Practiceは、世界中どこでも日系企業の発展に貢献できるよう、Baldwin Risk Partners内に設立され、私はこの部門に所属しております。Global Japanese Practiceメンバーは、過去大手保険会社・大手ブローカーでの経験を積み、延べ150年以上もの間、日系企業のアドバイザーとして活躍して

ます。簡単には、企業向けのリスクコンサルティングを起点として、損害保険(キャプティブ等を含む)・健康保険、福利厚生・人事コンサルティング等幅広く扱っております。3月にJBAH/JETROを通じ行いました人事セミナーには弊社も参画させて頂きました。

#### 2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

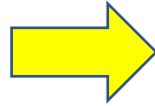
私は、2016年11月に、Los Angeles からヒューストンに来ましたが、ヒューストンに来てからの2017年にはハリケーンハービーで自家用車2台(内1台は、その一か月前に購入した新車)が水没し全損、去年は、私が日本滞在中に起きた寒波で水道管が破裂し部屋が水浸しになったままで、更には、その時の修理業者にジュエリーを幾つか盗まれ、水害を起因した災害に遭遇しました。幸いなことに私の得意分野の損害保険である程度回収できました。

#### 3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください

趣味のマウンテンバイクで走っていると、邪魔邪魔、ここ山ないよと言わんばかりの視線で簡単にロードバイクに追い越され、あまり恵まれた思いがありませんが、当地でお付き合い頂いている多くのJBAH会員でもある知人・友人に励まされ感謝しております。テキサス州でこの業界の日本人は私一人で、事務所は、Baldwin Risk Partners 傘下にあるエネルギー業界を得意としたInsGroup社、5151 San Felipe Streetに構えておりますので、お近くにお越しの際は是非お寄り下さい。

**災害：**

地象災害（地震／津波や火山活動など）  
気象災害（台風による洪水、大雪、雷など）  
人為災害（大気汚染、産業災害：職業病等）



**Houstonに地域で想定災害（除く人為災害）**  
**=気象災害**  
**ハリケーン、暴風雨による水害／寒波（雷）**

**Houstonはインフラが弱い（例：通常の雨／雷で停電）**

**被災経験**

1. 2017年8月ハリケーン・ハービー
2. 2021年2月ヒューストン寒波（日本滞在時）+2次災害（盗難）

## 被災経験

### 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー

#### 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー

日時：2017年8月29日

状況：2017年8月29日

午前中より、徐々に浸水

昼前に、ボートで自宅退避

専用バスで、避難所であるTOYOTA Centerに避難

夜10時頃、避難所から一般ホテルに移動

8月30日 自宅近くのホテルに移動（9月22日まで滞在）

8月31日 レンタカー手配（9月26日まで使用）

9月3-4日 必需品を取りりに自宅に戻る

9月中旬 Village on Memorial office 退去命令

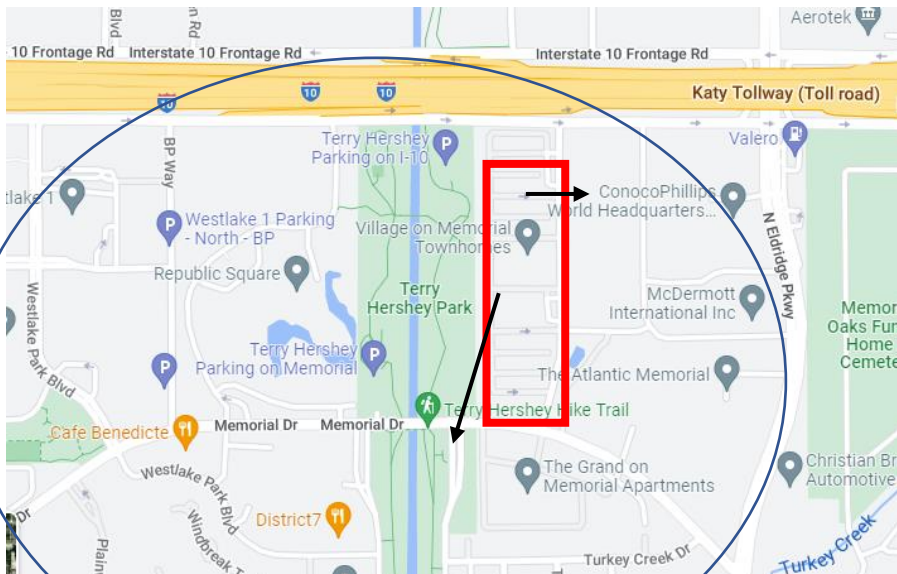
転居先探し

9月21日 Katyに転居

# 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー

Village on Memorial

15200 Memorial Dr, Houston, TX 77079



当日朝8時頃、ダラス出張日であったため、レンタカーを借りにゲートを出ようとしたが、道路は予想以上に水が深く、断念



# 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー



# 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー



# 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー





# 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー



## 1. 2017年8月ハリケーン・ハービー

項目：	損害額：	補填：
ホテル代	2,300ドル	FEMA
引っ越し	1,235ドル	FEMA
レンタカー代 車両2台 家財	1,246ドル 全損 殆ど損害なし	個人自動車保険より、1日30ドル30限度 個人自動車保険より、時価額 (ご参考) Property保険カバーせず FLOOD不担保



# FEMA

FEMA was officially created in 1979 through an executive order by President Jimmy Carter. Our history can be traced as far back as 1803.

## 2. 2021年2月ヒューストン寒波（日本滞在時）+2次災害（盗難）

2021年2月より日本帰国

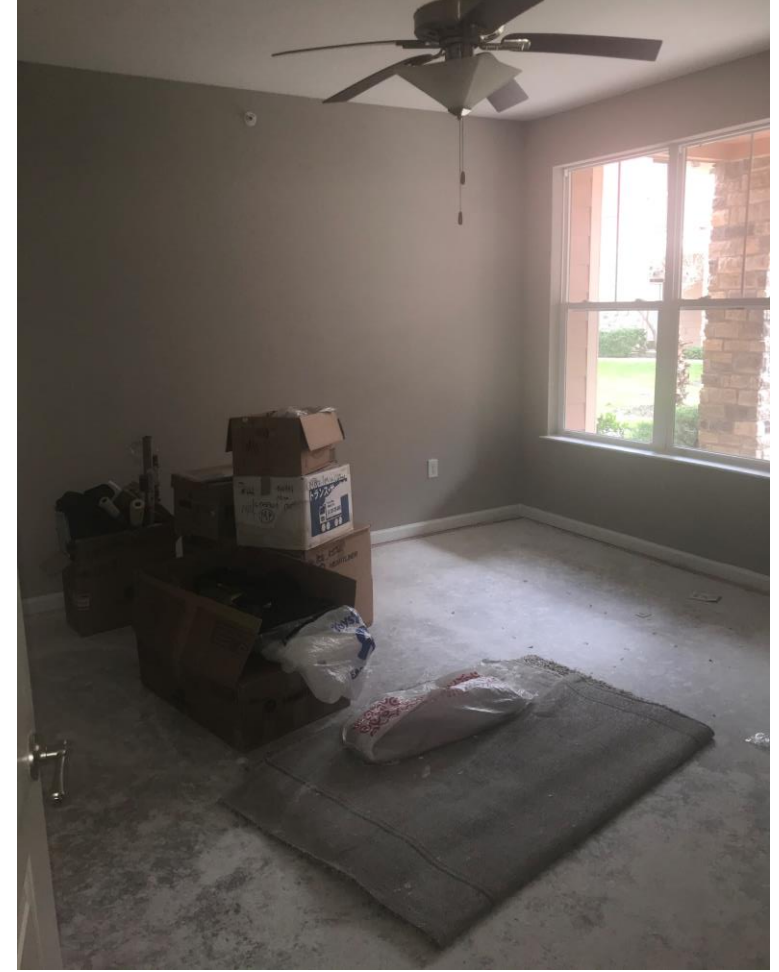
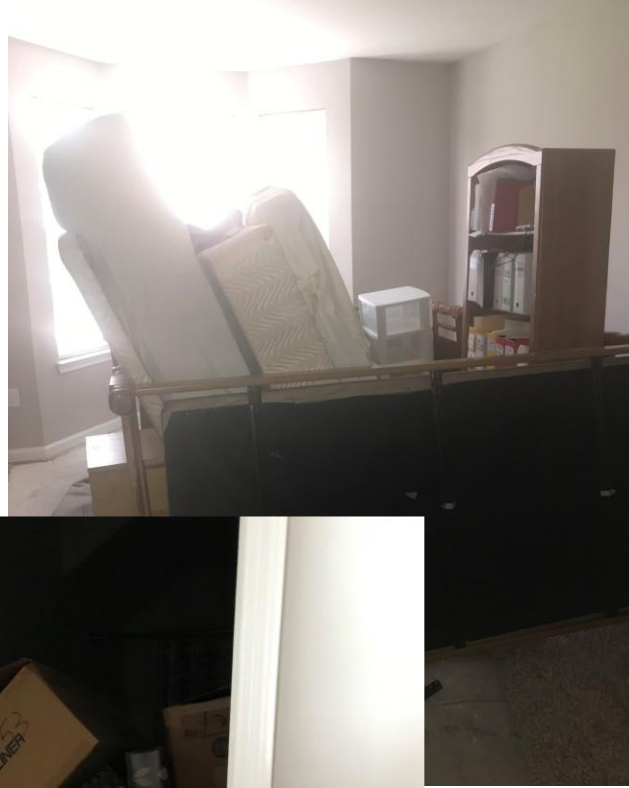
2021年3月 アパートオフィスからメールにて日本に連絡あり  
（隣人が自宅のドアから水が溢れているとの通報）  
200世帯内被災家庭60世帯で一番酷い状況  
壁修理業者の入室許可

2021年4月末帰米（延期）

ダンス等の家材、ベッド（解体）、クローゼットの洋服、荷物等が乱雑に移動させられてた  
宝石類の一部が盗難 警察届け出

2021年5月上旬 フロアリング・絨毯交換 その他、ブラインド、クローゼットの棚  
数々の業者が入れ替わり立ち代わり入室  
リビングホームテーブルの上に置いた携帯電話行方不明

項目：	損害額：	補填：
宝石類	？	個人家財保険にて、3,000ドル回収 （宝石類 3,000ドル限度）
家財	2,600ドル	個人家財保険にて、500ドル回収 （時価額 2,500ドルまでは新価額）
携帯電話	？	会社の携帯 特に保険請求せず



## 籠城

### 電気停止、水道停止

1. 非常用食品、水の常時ストック
2. 携帯用予備充電器・懐中電灯等の常備
3. ガスボンベの常備
4. 使い捨て食器

# 自然災害に起因する経験

## 避難

### 1. 非常用持ち出しバッグの準備

常日頃、持ち出す物をリストし直ぐにバッグ（ナイロン製）に詰め込めるようにしておく  
例）洋服類・非常食（含水）・財布・パスポート・貴重品等、幼児用乳製品

### 2. 避難場所までの道順・家族との連絡方法

当地では無理 何処に避難するか分からない  
現地日系コミュニティの利用

### 3. 電気を落とす

・漏電防止

\* 電動ガレージが作動しなくなるので、カスタキーは常時携帯

### 4. 冷蔵庫の中身をできるだけ廃棄

### 5. 保険をチェック

- ・雨天で道路に水が溜まるようであれば、早めに避難する  
（タイヤの1/3が水に浸かるようであれば、それが走行限度）
- ・雨量により、増水の危険を察したら、高台に車を避難させる （立体駐車場等）
- ・道路が凍結している時には、車を運転しない
- ・アパートの場合、1階の部屋はできるだけ避ける 一軒家の場合は2階建て

# 自然災害以外

## 1. 米国車社会

- ・危険運転車には近寄らない、対抗しない
- ・ラインの変更には、必ず左右を確認
- ・治安の悪そうな駐車場には車を停めない
- ・駐車する時に貴重品をトランクに入れない  
(事前に入れておく)

## 2. 自宅に入る業者（他人）からは目を離さない (自宅の貴重品は、簡易金庫に入れておく)

## 3. 財産目録を作成し、配偶者以外の信用出来る人に託しておく 夫婦ともども災難に会う可能性がある







<https://www.texasflood.org/emergency-prep/index.html>

HOMEOWNER'S HANDBOOK TO PREPARE FOR COASTAL  
NATURAL HAZARDS

<https://www.glo.texas.gov/coast/coastal-management/forms/files/homeowners-handbook-hurricanes.pdf>

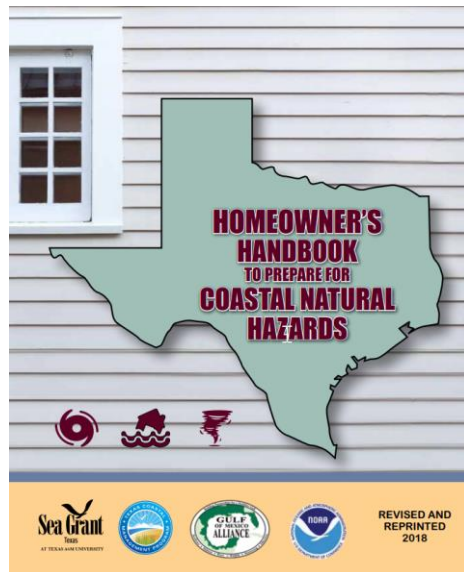
設問① お話から早め早めの行動がカギと理解。職場や家庭で日頃からどういう準備をしておくといいか。何か決めておくこといいことはありますか。 → 石井様と小川様で回答内容が被っても問題なし（それだけ大事だと伝わるので）。

## 災害への備え



災害への備えをもう一度確認して下さい。  
 非常用持ち出し品の点検をしましょう  
 非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？（災害に対するご家庭での備えページ）  
 雨や風が強くなる前に、家屋の補強などの対策をしましょう  
 避難場所までの道順を確認しておきましょう  
 日頃からハザードマップで危険箇所や避難場所をチェックしておきましょう

国土交通省ハザードマップポータルサイト別ウィンドウで開く  
 雨が降り出したら土砂災害警戒情報等にも注意しましょう  
 土砂災害に関しては「土砂災害から身を守るには」のページをご覧ください。  
 危険を感じたり、市町村長からの避難指示等があった場合は、あわてず速やかに避難しましょう  
 避難の前には、必ず火の始末をしましょう  
 避難の際の持ち物は最小限にして背中に背負うなど、両手が自由に使えるようにしておきましょう



- Paper and pencils
- Games and books for children
- Pet supplies and documentation (vaccines, microchip number, etc.)
- Waterproof plastic sheeting or tarp, adhesive tape, and rope
- Alternate power supplies: inverters, power stations, generators (with gas tanks if needed)



Examples of Emergency Supplies  
 Source: retrieved April 24, 2018, from [www.cdph.ca.gov/Programs/EPO/Pages/PrepareanEmergencySupplyKit.aspx](http://www.cdph.ca.gov/Programs/EPO/Pages/PrepareanEmergencySupplyKit.aspx)

### 3.2 EVACUATION KIT

An evacuation kit differs from a stock of emergency supplies because this kit is taken with the homeowner if an evacuation is necessary and is subject to the space available in a car, on public transportation, or at an evacuation shelter. The components of the evacuation kit should be stored in one place so that everything is ready to go at a moment's notice. Keep this kit in a designated place and make sure all family members know where the kit is kept. It is still recommended that you pack enough supplies to last at least 72 hours.



### Continuous Load Path Connections

All houses have some connection from the roof to the foundation; otherwise, they would fall apart. The continuous connection from the roof to the foundation is often called a "Load Path" and it is analogous to a chain — it is only as strong as the weakest link. In response to recent hurricane damages, much stronger connections are now required to protect against hurricane winds. New homes are designed with continuous load path connections; older homes may need to be retrofitted to add load path components. The specifics of the continuous load path connection are illustrated in Figure 4-5. The roof is tied to the wall, typically with hurricane clips and plate ties. The wall of a higher story is tied to a lower story with straps.

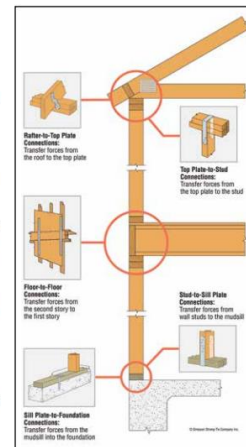


Figure 4-5. Continuous Load Path Connections  
 Source: Simpson Strong-Tie Company, Inc.



# 災害への備え

災害への備えをもう一度確認して下さい。

非常用持ち出し品の点検をしましょう

非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？（災害に対するご家庭での備えページ）

雨や風が強くなる前に、家屋の補強などの対策をしましょう

避難場所までの道順を確認しておきましょう

日頃からハザードマップで危険箇所や避難場所をチェックしておきましょう

国土交通省ハザードマップポータルサイト別ウィンドウで開く

雨が降り出したら土砂災害警戒情報等にも注意しましょう

土砂災害に関しては「土砂災害から身を守るには」のページをご覧ください。

危険を感じたり、市町村長からの避難指示等があった場合は、あわてず速やかに避難しましょう

避難の前には、必ず火の始末をしましょう

避難の際の持ち物は最小限にして背中に背負うなど、両手が自由に使えるようにしておきましょう